

## 花 TSUNAGI クラブ

### 開催報告書

2026年1月17日（土） 4施設合同フラワーアレンジ 花育活動（2025年度）

◎タイトル：～福岡県産の花をつかった～ 『Spring Flower アレンジメント』

◎開催場所：アクロス福岡 2F 交流ギャラリー

住所：福岡県福岡市中央区天神1丁目1番1号

◎日時、参加施設及び人数 1月17日（土） 11時スタート

和白青松園（児童1名・女子） 福岡育児院（児童12名・男子4名 女子8名）

福岡子供の家（児童3名・男子3名）若久緑園（児童10名・男子8名女子2名）

◎主催：花 TSUNAGI 実行委員会

◎協力：福岡県農林水産部園芸振興課、JA 全農ふくれん

NPO 法人次世代のチカラ FUKUOKA、福岡リバイライオンズクラブ、

花の力をプロデュース オフィスメントアー

◎花卉提供：カンパニュラ2色/JA糸島、ガーベラ MIX/JA ふうおか八女、

SP カーネーション2色/JA にじ、タラスピ/JA 糸島、

オンシジューム/JA ふうおか八女

◎配布物：花あふれるふうおか推進協議会リーフレット・ポストカード

◎掲示物：福岡県花き生産マップパネル

◎テキスト制作：花 TSUNAGI 実行委員会（シッパス株式会社内）

※アクロス福岡様、花 TSUNAGI 実行委員会より匠ギャラリー見学の提案があり、  
希望施設（子どもの家、和白青松園）参加

【開催の流れ】

○ 1月17日（土）9時00分

・JA 全農ふくれん伊藤彰宏氏よりアクロス福岡へ花卉搬入



ゼラニウム、ユーカリは自宅より

・花 TSUNAGI 実行委員会にて資材関係を搬入

9時00分 関係者集合 花卉及び会場準備

<スタッフ>

・花 TSUNAGI 実行委員会事務局／梅田麻子

・講師／山口みどり、田中利栄、市川直子、鍋倉多恵



会場の雰囲気

【体験の様子】



司会進行 山口みどり JA 全農ふくれん伊藤氏より花の流通の話からスタート



花 TSUNAGI 講師より花の説明～  
いけかたのアドバイス





## 集合写真

アレンジメント終了後に、数名の児童に感想をのべてもらいました。

「一番好きだったお花は？」の問いに「ガーベラ」と答えた子どもが多かったです。



今後もこの花瓶にお花を飾って欲しい想いを込めて、プラスチック製の花瓶に錆びにくいスチール製の針金をまるめて、花留めに使いました。考えていたよりスムーズにいけてくれました。



花 TSUNAGI 実行委員会作成のフライヤー



(和白青松園より)

参加予定だった和白青松園の子供たちが、学校行事などに重なり参加ができず、花材を渡して施設で作ってもらいました。担当職員様より写真と感想が送られてきました。以下です～

「今日は大変お世話になりありがとうございました。

帰宅後、頂いたお花で、即席のフラワーアレンジメントの会を行い、

小学生男子 6 名が取り組んでくれました。

顔出しできない子どもたちばかりなので、モザイクの写真ですみません！

昨年参加した子 4 名に加え、新たに 2 名参加してくれました。

みんなそれぞれ個性のある作品を作り、喜んでホームに持ち帰りました。

お花を切るときに「かわいそうだから切りたくない！」等かわいらしい言葉も聞かれました。いつも貴重な体験をさせて頂き、大変感謝しております。

今後ともどうぞよろしく願いいたします。」

\*\*\*\*\*

福岡市の児童養護施設での花育活動を始めて、4、5年立ちました。施設で暮らす子どもたちはさまざまな理由で親と暮らすことができません。障がいをもったお子さんもいます。回を重ねて行くと子どもたちの成長を感じ、アレンジメントのレベルも上がってきました。18歳になり今年で施設を卒業する子どもも数名おります。

「これからもお花を大切にします」と、それぞれにお礼の言葉をかけてくれ、花を通して優しさや思いやりを感じてくれていると思います。職員さんたちも驚いておられました。今後も花を通して心をはぐくむ活動を行ってまいります。

ご協力いただいた関係各所の皆さまへお礼を申し上げます。

花 TSUNAGI 実行委員会プロデューサー・オフィスメントアー代表 山口みどり